

学長 候補出し直し要求

富大・経済学部長選考 異例の事態

教授会反発、質問書提出へ

「判断基準が曖昧」「規則違反の疑い」

富大の次期経済学部長選考で、同学部が投票で候補者2人を選び、遠藤俊郎学長に推薦したのに対し、学長が不適任などとして候補者を再度推薦するよう要求、教授会が反発していることが分かった。教員からは、学長の判断基準が曖昧で学内規則違反の疑いがあるとする指摘が上がり、学長への抗議文をインターネット上に公開する案が出される異例の事態となっている。同学部教授会は通知の趣旨や判断の根拠をただす文書を学長に提出する。

推薦2人に「適任でない」「判断できず」

富大では学部側が候補者2〜3人を学長に推薦し、学長が選考、任命すると規則で定められている。関係者によると、新年度からの経済学部長の選考で、同学部は1月15日付で候補者2人を遠藤学長に推薦した。

学長は25日付の中村和之現経済学部長宛て文書で、学部長候補者のうち1人について「選考の基準を満たしておらず適任ではないと判断した」、一方の候補者について「適任であるとは判断できなかった」と

通知。不適任と判断した場合は学長が候補者の推薦を再度、学部側に求めるとする学内規則を挙げ、改めて候補者2人を推薦するよう求めた。これを受け、31日の経済学部の臨時教授会で教員か



学部長候補者の再推薦を遠藤学長から求められた経済学部
—富大五福キャンパス

らは、「適任とまでは判断できなかった」とする記述について「判断保留」とも読めるとして「適任か適任でないか、はっきりしないのに、規則を持ち出して候補を選び直せというのはおかしい」と学内規則違反を指摘する声が上がった。さらに、学長が不適任など判断した具体的根拠が明示されていないとの批判があり、「学長が気に入らない候補を蹴ることができると恣意的判断への懸念を表明する教員もいた。臨時教授会で中村現学部長は、遠藤学長が通知の前に、候補者1人が不適任では複数候補からの選択がで

富大の次期経済学部長選考規則 富大の学部長の選考に必要な事項を定めた学内規則。学部教授会が学部長候補者2〜3人を学長に推薦し、学部長候補者は学長に所信を提出する。第2条第5項で「学長は、学部長候補者が学部長として適任でない」と判断した場合、当該学部教授会に再度学部長候補者の推薦を求める」と定められている。

きないとして「もう1人候補を推薦してほしい」と依頼してきたと説明した。

中村現学部長は「適任とまでは判断できなかった」

とこれた教員はそのまま再推薦し、もう1人の候補を再び投票で選ぶことを臨時教授会で提案した。だが、

もう一人の候補を要求する学長の行為は学内規則に反するとの批判が上がリ、教員に受け入れられなかった。

教員からは「正当に選ばれた候補者2人のうち、1人が適任でないとすれば、残り1人を当然、学部長と

して指名すべきだ」などと反発が上がった。

経済学部教授会は学長に文書を提出し、回答を待って対応を決めるという。

富大は富山新聞社の取材に対し「学内規則によって手続きを進めている」(広報課)としている。